

ジャズシーンの第一線で活躍中の演奏家をゲストとして招聘し、ライブや演奏活動を行い、ジャズや楽器の奏法について指導した カウントハードジャズオーケストラ

活動の目的

ジャズを聴く機会や演奏する機会が増えることでジャズを身近に感じられるようにする。さらに、自分たちの演奏会にジャズの楽曲を取り入れるだけでなく、演奏技術を向上させ、ジャズストリートやスウィング甲子園で活躍する生徒を増やす。

活動の内容及び経過

6月8日（土）、楽団主催で神戸 BIBI にて、ゲストに大森明氏（Sax）、吉田純也氏（Vo）、早川隆章氏（Tb）をお迎えしライブイベントを開催した。当日は80名を超えるお客様にお越しいただいた。兵庫県の高校ジャズバンド部との共演を計画していたが、高校側のスケジュールが合わず実現しなかった。ジャズバンド部顧問とは話ができ、情報交換することができた。

10月6日（日）興譲館高校芸術鑑賞会にて300余人の生徒の前で演奏した。ゲストは小笠原千秋さん。バンドリーダーである松井が今回の芸術鑑賞会用に「赤とんぼ」を4ビート、カウントベイシースタイル等ジャズ風にアレンジし演奏したり、米津玄師氏の「パプリカ」のジャズアレンジ版を披露したりした。演奏後に吹奏楽部の生徒らと交流することができた。

1月25日（土）倉敷市民会館で開催されたジョイフルコンサートにゲスト出演した。高梁川流域の中学校・高等学校が参加し、学校数18、出演者数（ゲストを除く）22団体・570人、来場者数は663人と盛況であった。ジョイフルコンサートは吹奏楽だけでなく、合唱の部もあり様々なジャンルの演奏が行われることが特徴である。この日はゲストボーカルに吉田純也氏をお迎えし、演奏した。ステージと会場全体が一体となり、観客も一緒に振り付けをするシーンは盛り上がった。

【ゲスト紹介】

吉田純也：ビッグバンドジャズシンガー・MC・ナレーター・俳優。東京ディズニーシー15周年「ザ・イヤーズ・オブ・ウィッシュ・イン・コンサート」シンガー。社会人コーラス「トワイライツ」主宰。ヴォイストレーナーとしての評価も高い。

大森明：サクソ奏者。高校時代よりプロ活動を開始。その後、国立音楽大学、パークリー音楽院に学び、在学中からソリストとして活躍。常にハイクオリティなストリートジャズを追求し続ける。教則本の制作も手がけ2005年、新刊著書「実践、Jazz Adlib シリーズ」が出版され、現在も The Sax 誌に自己の連載コーナーを持ち



若手の育成にも力を注いでいる。

小笠原千秋：ジャズ・ヴォーカリスト。大学在学中より明治学院大学ライトミュージック・ソサエティーに参加、同時に都内のライブ・ハウスで歌い始める。アルバムは95年『インヴィテーション』、99年『スタンダーズ・アンド・マイ・ソングス』などがある。ライブを中心に活動中。

活動の成果・効果

演奏後の交流で、生徒からは「とても迫力があつた」、「ジャズと聞いて抵抗があつたが、実際聞いてみると楽しめた」等の声が多く聞かれた。また、「演奏のコツを教えてもらえた」、「ウラの音をかなり強く吹くんですね」等奏法に関することも話題にあがり、指導することができた。ジョイフルコンサート後には合唱団の生徒が楽屋で吉田純也氏にボイストレーニングや呼吸法等具体的な質問をして交流を図ることができた。ステージの演奏を聴くだけでなく、演奏者と交流したり、プロの演奏者に質問できる場を提供できたことはよかった。

今後の課題と問題点

演奏会後の交流だけではなかなか高校生を指導する時間をじゅうぶんにとれなかったため、指導するための時間や場を設定する必要があると感じている。また、吹奏楽部顧問等演奏者の指導にあたる人々が自信を持って、正しい奏法が指導できるようになってもらうための情報交換会を開く企画していきたい。

- 代表者：松井大圓 ●所在地：倉敷市阿知
- TEL：086-427-1231
- E-MAIL：countherdjazzorchestra@gmail.com
- URL：http://www.curvedesign.jp/countherdjazzorchestra/index.html
- 設立年：1965年 ●メンバー数：23名